

平成27年度 東北大学金属材料研究所
計算材料学センター共同利用研究募集要項

1. 募集要項

物質が持つ性質には無限の可能性があり、その構成要素や形態の違いによって実に多彩な振る舞いを示します。新しい物質の発見には新しい基礎科学の発展があり、その有用性が明らかにされることで材料科学の研究対象となり直接社会へと貢献します。現在の材料研究には、より高度な新材料をより早く設計・開発することが求められています。その方法として、大きな可能性を秘めているのが計算機シミュレーションです。計算材料学センターでは、幅広い物質対象に対してスーパーコンピュータを最大限に活用し、超大規模シミュレーション計算により新物質・材料の探索・設計を行うとともに、計算機を広く研究者の共同利用に提供しています。当センター詳細については、以下のホームページをご参照ください。

<http://www-lab.imr.edu/~ccms/Jpn/>

○システム概要

主な構成は以下のようになっています。

1. スーパーコンピュータ：HITACHI SR16000 モデル M1
2. アプリケーションサーバー：IBM BladeCenter HS22
3. ストレージシステム：HITACHI AMS2500

詳細は、以下の「スパコンシステム一覧」のページを参照してください。

<http://www-lab.imr.edu/~ccms/Jpn/outline/systems.php>

2. 申請資格者

(1) 国立大学法人・公・私立大学及び高等専門学校並びに独立行政法人及び特殊法人（以下「大学等」という）の常勤の研究者が研究代表者として申請できます。

(2) 研究組織の中に研究分担者として常勤研究者以外の教職員、大学院生（高等専門学校にあつては専攻科学生）、並びに学部生（指導教員が明確なこと）、外国機関所属研究者（※1）を含むことが出来ます。なお、前述した者のほか、特にセンター長が認めた者も研究分担者となることが可能です。

(3) 多くのユーザーにご利用頂くという趣旨から、各課題の時間ノード積に上限を設けることがあります。その目安として、原則1課題あたり30万ノード積としますが、課題の申請状況および本センターの運営状況により変更することがあります。

(4) 研究分担者の多い実施組織に関しては、代表者に、分担者の寄与と責任が明確にできる説明を求め、さらに報告書において代表者、分担者の利用状況と成果の関係を説明頂くことがあります。

(※1) スーパーコンピュータの利用に際し、安全保障輸出管理手続きが必要となります。（「10. 安全保障輸出管理」参照）

3. 申請方法

(1) 本研究所webシステム（共同利用webシステム）を利用した電子申請によって行います。

（本研究所ホームページ <http://www.imr.tohoku.ac.jp/>）

本研究所以外の申請者は、事前に本研究所の教員と共同研究について協議のうえお申込みください。

(2) 申請書等の締切りは以下のようになります。

- ① 課題申請書：平成26年12月8日（月）（期日厳守）
（本研究所webシステムによる電子申請）
- ② 共同研究承諾書（別紙）：平成27年4月10日（金）（期日厳守）
（採択後、所属長印を捺印したものを郵送または持参ください）

(3) 留意事項

- ① スーパーコンピュータのご利用にあたっては、上記課題申請に加え、さらに本センターに利用申請書をご提出いただく必要があります。
詳細は下記本センターホームページをご参照ください。
<http://www-lab.imr.edu/~ccms/Jpn/>
- ② 英語による申請も可能です。
- ③ 平成27年4月以降研究期間が始まった後も、随時申請を受け付けます。本研究所事務担当ないし共同研究対応教員にご相談ください。

4. 研究期間

研究期間は、平成27年4月1日から平成28年3月末日までの期間です。同一の研究課題で継続する場合の研究期間は、研究開始の年度を含めて3年以内です。

5. 採 否

採否は、1申請課題について3人のレフリーで審査し、その審査結果をもとに担当委員会等において審議・決定します。継続課題の場合、審査には、これまでの研究成果の有無が反映されます。

採択結果は、平成27年3月下旬頃、申請者へ直接通知します。

6. 申請に関する問い合わせ先（共同研究承諾書提出先）

〒980-8577 仙台市青葉区片平二丁目1-1
東北大学金属材料研究所 総務課 研究協力係
電 話：022-215-2183
FAX：022-215-2184
E-mail：imrkyodo@imr.tohoku.ac.jp

7. 共同利用研究報告書

研究代表者は、平成28年4月8日（金）までに「共同利用研究報告書」を本研究所webシステムにて提出してください。（期日厳守）

8. 成果の公表

研究成果を論文として発表してください。謝辞のところに「金属材料研究所のスーパーコンピュータを利用した」旨を論文中に明記し、またその別刷一部を金属材料研究所計算材料学センター宛に送付してください。

例文 1:

This work has been performed under the inter-university cooperative research program of the Center for Computational Materials Science, Institute for Materials Research, Tohoku University(Proposal No. **S****)

例文 2:

The authors would like to express their sincere thanks to the crew of Center for Computational Materials Science of the Institute for Materials Research, Tohoku University for their continuous support of the

SR16000 supercomputing facilities.

なお、本センターの英文名は次のとおりです。

○ Center for Computational Materials Science

又、本センターの成果の取り纏めに際し、研究代表者から課題ごとにまとめて公表論文の提出を依頼することをご承知おきください。

9. 知的財産権の取扱

東北大学共同研究取扱規程を準用します。

10. 安全保障輸出管理

平成 26 年度より、スーパーコンピュータ利用申請者の中で、「外国籍である者」及び「外国機関所属の者」については本学安全保障輸出管理室による経済産業省への許可申請の要否の確認を受けることとなりました。確認結果の通知があるまではスーパーコンピュータをご利用いただくことができませんので、予めご了承ください。

また、確認の結果、許可申請が必要と判断された場合、当該申請者の在籍証明書等、各種資料の提出を依頼することがあります。

11. その他

やむを得ない事情により、スーパーコンピュータの定常的な稼働が困難となった場合には、使用に制限を設ける場合がございますので、予めご了承ください。

別 紙 （採択後に、共同利用 web システムにて作成してください。）

共 同 研 究 承 諾 書

（ 計算材料学センター ）

国立大学法人東北大学
金属材料研究所長 殿

課 題 番 号 :

研 究 課 題 :

氏 名	職名等	所 属

上記の者が、共同研究者となることを承諾します。

平成 年 月 日

所 属 長

職印

上記の者のうち、学部生が共同研究者となることを承諾します。

指導教員 :

印

- 注) 1. 「所属長」とは、研究者が所属する研究機関の長で、大学にあつては学長、学部長、研究科長、研究所長を、高専にあつては校長を、独立行政法人及び特殊法人の研究機関にあつては機構長、理事長、センター長等を言います。
なお、大学院学生にあつては所属研究科長を、高専・専攻科学生にあつては校長を言います。
2. 共同研究者に学部生がいる場合は、該当する学生の指導教員の承諾が必要になります。